

Ⅲ 第2期川崎市食育推進計画の基本方針

1 第2期川崎市食育推進計画基本方針

- 第2期計画では、第1期計画の内容を基本的に継承しつつ、豊かな人間性を育み健全な食生活を実践していけるよう具体的な目標を設定し、関係機関・団体・企業等との、より緊密な連携協力を図りながら食育の取組を推進します。

2 第2期川崎市食育推進計画基本理念

- 心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、市民一人ひとりが食に関する知識と食を選択する力を養い、健全な食生活を実践していけるよう、家庭、学校、地域、企業等さまざまな分野との連携のもと、すべての年代の市民に食育を推進し、「健康都市かわさき」の実現をめざします。

3 第2期川崎市食育推進計画目標

(1) 食卓での団らんの機会を増やそう

家族と一緒に食事をする人を増やす

現状：毎日家族と一緒に食事をしている人 39.8%

〈平成21年度川崎市健康意識実態調査より〉

◇朝食は家族そろって「いただきます」

◇休日には家族で食卓を囲み、団らんの機会を増やしましょう

◇みんなで食事することで、おかずの数を増やし、栄養のバランスがとれるようにしましょう

◇食事のあいさつや箸の持ち方等のマナーを学びましょう



(2) 朝食にもおかずや野菜を食べよう

朝食で主食・副菜・主菜をそろえて食べる人を増やす

現状：朝食で主食・副菜・主菜を食べている人 47.5%

〈平成21年度川崎市健康意識実態調査より〉

- ◇朝食を食べることから生活のリズムを整えましょう
- ◇朝食に野菜をプラスして、野菜不足を解消しましょう
- ◇菓子、果物、サプリメントのみの朝ごはんではなく、主食・副菜・主菜をそろえて「しっかり朝ごはん」を実践しましょう
- ◇朝食がしっかり食べられるよう、夜遅くの飲食は控えましょう

(3) 食事バランスガイドを広めよう 活用しよう

食事バランスガイドを参考にする人を増やす

現状：食事バランスガイドを参考に行っている人 16.5%

〈平成18年度かわさき市民アンケートより〉

- ◇食事バランスガイドを使って、『日本型食生活』を実践しましょう
- ◇栄養バランスのよい食事で、肥満や過度のやせ志向、偏食を改めましょう



(4) 伝えよう 広めよう 食の情報・活動

食育に関する活動や行動を行う人を増やす

現状：食育に関する活動や行動を行っている人 42.9%

〈平成18年度かわさき市民アンケートより〉

- ◇食育や健康のイベント、講演会、体験教室等に積極的に参加しましょう
- ◇国内産食品の購入に努め、自給率の向上を推進しましょう
- ◇食品の安全性に関する理解を深めましょう
- ◇非常時に備えて食料を備蓄しましょう



食事バランスガイドを 活用しよう！



『食事バランスガイド』とは、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかをひと目でわかる食事の目安です。主食・副菜・主菜・牛乳・果物の5グループの料理や食品を組み合わせるよう、コマにたとえてそれぞれの適量をイラストで示しています。

「おとなの1日の目安量」の料理の組合せ例はおおよそ、2200kcalです。

献立 1日3食、主食・副菜・主菜をそろえましょう。

上の食事バランスガイドの料理を組合わせて、1日の献立をつくると次のようになります。



コマのひも ひもの部分は、「菓子・嗜好飲料」を表しています。

ひもの部分は、食生活の楽しみである「菓子、嗜好飲料（お酒を含む）」。食事全体の中での量的なバランスを考え、「適度に」とる必要があります。1日200kcalまでを目安にしましょう。

コマの軸 軸の部分は、「水・お茶」、コマの回転は、「運動」を表しています。

コマの軸の部分は、水とお茶。コマが回転しているのは、運動していることを表しています。

◆食事バランスガイドについて、より詳しく知りたい時は、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.j-balanceguide.com/>



IV 具体的な施策の展開

1 7つの施策の柱

- 第1期計画に引続き、第2期計画も次の7つの具体的な施策を柱に、様々な場面で食育の取組を進めていきます。第1期計画で行ってきた取組（P 11～17）を継続するとともに、関係機関・団体・企業等と連携して、さらに食育を推進していきます。

（1）家庭における食育の推進

- 家庭は、子どもが健やかに成長するための基本的な食習慣を身につけ、食を大切にする心を育て、団らんによりコミュニケーションを図り、生涯を通じて健康的な生活をおくるための基本的な場でもあります。
- 関係機関、団体、事業者、行政等がそれぞれに、また連携して、子どもから高齢者までの各ライフステージに応じた栄養講習会や教室、相談事業等、様々な場面を通じて、健全な食生活の普及啓発や食に関する情報を提供していきます。

【推進するための主な取組】

事業名称等	内 容	担当局
両親学級	妊娠中からの健康的な日常生活、出産、育児に関する各種の健康教育を行う。	区役所
乳幼児健康診査 各種相談事業(育児相談等)	乳幼児期からの健康づくりのため、生活リズムの確立や、望ましい食習慣の普及啓発を行う。	区役所
食と健康教室 (離乳食教室・幼児食教室)	乳幼児の食生活を中心に、家族の健康と食生活について系統的に学習する教室を実施する。	区役所
健康づくり普及啓発事業	各区において各種健康づくり教室、健康関連イベント、健康教育等を実施する。さらに、平成22年度まで妊娠中及び育児世代（ニューファミリー）を対象に実施していた正しい生活習慣の習得の支援を引き続き健康的な食生活等の普及啓発として実施する。	健康福祉局 区役所
介護予防事業	高齢者が健全な食生活により自立した日常生活をしながら、生き生きと生活できるように様々な団体等と連携して支援する。	健康福祉局 区役所
歯科保健事業 (マザーズ・ブラッシング・1歳児 歯科健診・歯の健康教室等)	う蝕やその他の口腔疾患予防のため、正しい知識の普及啓発を図る。また、疾病の早期発見と予防処置、生活習慣の見直しから歯科保健指導を実施する。	区役所
青少年指導員事業	青少年の健全育成を図るため、青少年指導員の食育推進に関する知識等の習得を図る。	市民・こども局

事業名称等	内 容	担当局
「成人の日を祝うつどい」 における食育の普及啓発	「成人の日を祝うつどい」において、新成人へパンフレットや動画の放映等で食育の普及啓発を行う。	健康福祉局 市民・こども局
市民自主企画事業「腹ペコ たんけんたい」	父親と子どもと一緒に料理することを通して、親子のコミュニケーション向上と他の親子との交流を図るとともに、子どもたちが食の大切さを学ぶことができるようにする。	教育委員会
市民自主企画事業「元気な 子に育てよう！食育セミナーと料理塾」	食習慣が根付く幼少期の子どもが良い食習慣を身につけ元気に育つように保護者及び関係者が食育の知識を得る。また、川崎市で生産される野菜・地元農業と食の安全等への関心を高め、自主的な学習活動につなげる。	教育委員会
夏休み親子食育講座	食材に触れることで、子どもたちに食の重要性について学んでもらう。市場見学と市場の食材を使った料理講座を行う。	経済労働局 教育委員会

（２）学校・幼稚園・保育園における食育の推進

- 学校、幼稚園、保育園等は、体系的に食の基本を学び、食生活や食習慣の改善を図ることができる重要な場であるとともに、子どもたちが集団生活を通して食の大切さ・楽しみ・マナーや感謝の念を実感する場所でもあります。
- 給食や体験学習（栽培・収穫・調理等）等あらゆる場面を利用して、食に関する知識や健康の大切さ、地域の自然や文化について学び、生産者への理解や感謝の気持ちを育みます。保護者に対しても食育の重要性についての啓発を進めていきます。

【推進するための主な取組】

事業名称等	内 容	担当局
学校における食に関する指導の推進	学校給食を始め、教育活動全体をとおして、食のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食を通じて自らの健康管理ができるようにする。また、授業や部活動における身近なお弁当作りや調理実習などをとおして、児童生徒が自分の食事について考え、併せて、家庭での食育を考える契機ともなるような取組を行う。	教育委員会
保育園における食育推進	保育園給食や食に関する楽しい活動やあそびをとおして、保護者との連携のもと、適切な食事のとり方や望ましい食習慣の基礎を培い、豊かな人間性を養う。	市民・こども局
子育て支援事業 （園庭開放、保育相談等）	園庭開放や保育相談、子育て支援講座など、子育て家庭の交流の場の提供や食に関する情報提供等を行う。	市民・こども局
子育て支援ホームページの開設	子どもの育ちや食に関する情報発信をするとともに、保育園が気軽に相談できる存在であることを知ってもらう。 保育園の食事や人気のレシピを紹介する。	市民・こども局

(3) 地域における食生活改善のための取組の推進

- 生涯を通じて健康的な生活を送るためには、地域や職場において、それぞれの年代に応じた望ましい食生活が身につけられるよう栄養や食生活に関する情報を得る機会を設ける必要があります。
- 栄養バランスの優れた「日本型食生活」を実践するために、食に関する専門家・ボランティア、食品関連事業者、企業等と連携して、「食事バランスガイド」の活用促進や正しい情報の提供に努めていきます。

【推進するための主な取組】

事業名称等	内 容	担当局
食育推進地域活動事業	食育イベント、キャンペーン、栄養講習会等を実施する。 また、各区の特色を生かした食育の取組みを支援する。	健康福祉局 区役所
健康づくり普及啓発事業	市民が主体の健康づくりへの支援として、市民健康デー（毎月第4土曜日を健康について学び、考え、実行する日）において健康に関する情報発信や講演会を開催する。また、各区において各種健康づくり教室、健康関連イベント、健康教育等を実施する。 さらに、平成22年度まで妊娠中及び育児世代（ニューファミリー）を対象に実施していた正しい生活習慣の習得の支援を引き続き健康的な食生活等の普及啓発として実施する。	健康福祉局 区役所
くらしのセミナー （出前講座）	消費生活に関する知識を普及させるため、学習会及び研修会に講師を派遣する。食の安全等、食育に関する講座も設定している。	経済労働局

(4) 食育推進運動の展開

- 食育を総括的かつ計画的に推進する体制として、「川崎市食育推進会議条例」により、食育推進会議を設置し、また、各区においては食育推進分科会を設置し、各関係機関・団体・企業等と連携を図りながら食育を推進します。

【推進するための主な取組】

事業名称等	内 容	担当局
食育推進協議会事業	市食育推進会議で食育に関する事項を審議し、各区では食育推進分科会を基盤に各関係機関・団体・企業等が連携して、区の特性を生かした食育事業を展開する。	健康福祉局 区役所

(5) 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化

- 食に対する感謝の念を深めていく上で、食を生み出す場として、農産物などの食料の生産、製造、加工、流通等の現場は、地域の食育を進めていくための貴重な場となります。
- こうした場を活用して、農業体験・[※]教育ファーム等、生産者等と消費者が交流できる機会を設け、食に関わる人々の様々な活動や環境に優しい食事づくりへの理解を深めていく取組を進めていきます。

【推進するための主な取組】

事業名称等	内 容	担当局
川崎市ファーマーズクラブ事業 (教育ファームの取組)	市民と農業後継者との交流を推進するため、農業後継者の指導で市民が野菜、果樹、花き等の農作物の栽培や収穫等の農作業を体験します。	経済労働局
体験型農園推進事業 (教育ファームの取組)	農業者の指導で市民が、野菜、果樹、花き等の生産における農作業を体験する体験型農園を農業者が開設することを支援します。	経済労働局
川崎市市民農園事業	市民の農業への理解を深め、土に親しむ場として川崎市市民農園を開設・運営します。	経済労働局
市民ファーマー農園	市民が農業を体験する場として市民ファーマー農園を、農業者等が運営します。	経済労働局
かわさきそだち野菜市	市内の農家と生産物の紹介や販売などの多角的な活動を通じて、女性の農業従事者への理解や地産地消、フードマイレージなどに対する意識の向上などを図る。また、地域活動への参加や男性の家事参画などを促す。	市民・こども局
Buyかわさきキャンペーン推進事業	市内の優れた名品を掘り起こし、市内外に広くPRするとともに、川崎市のイメージアップを図る。	経済労働局
焼きたてパン販売 パン工房めいぼう	人々の多様性への理解促進のため、障害者の方が作られたパンの販売場所の提供を行う。障害者の雇用、自立支援に繋がる活動と食とのつながり等への理解を深める。	市民・こども局

※教育ファーム

教育ファームとは、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、農林漁業者などが一連の農作業等の体験の機会を提供する取組を言います。市は、農業者、JA等と連携し、農業体験学習、体験型農園など市民が農にふれる機会の普及を推進し、多くの市民に都市農地の持つ多面的機能や農作物を育てることを通して食の大切さの理解と関心を広めていきます。

(教育ファームの取組事例 米粒から作る米作りP 57 農業体験学習P 58)

事業名称等	内 容	担当局
生ごみ等リサイクル推進事業	小学校給食を対象にした生ごみのリサイクルモデル事業。生ごみを資源として捉え、環境教育や食べ残しをなくすなど食育との連携を行う。	環境局
地球に美味しい「エコ・クッキング」事業	企業、ボランティア、行政の協働による「食」を通した環境に配慮した食生活の大切さを学ぶ事業。	環境局

（６）日本型食生活や食文化の伝承

- 世界一の平均寿命・健康寿命を支えてきた、主食・副菜・主菜のそろった栄養バランスに優れた「日本型食生活」をしっかりと次の世代に伝承していくことは大切なことです。
- 食卓を囲む中で、また、給食やいろいろな食に関する活動を通して「日本型食生活」や食文化を継承するよう普及啓発していきます。

【推進するための主な取組】

事業名称等	内 容	担当局
地区組織活動助成事業	食生活改善推進員等による地域における食生活改善のための各年代・対象に合わせた料理教室等により日本型食生活や健全な食生活を普及啓発する活動を支援する。	健康福祉局 区役所
食生活改善推進員養成教室	各種料理教室等の開催による食生活改善を中心とした健康づくりのボランティアを養成する。	区役所

※日本型食生活

日本型食生活とは、日本の気候風土に適した米を中心とした農産物、畜産物、水産物等多様な副食から構成された栄養バランスに優れたものです。1回の食事に主食・副菜・主菜をそろえるのが「日本型食生活」の基本です。



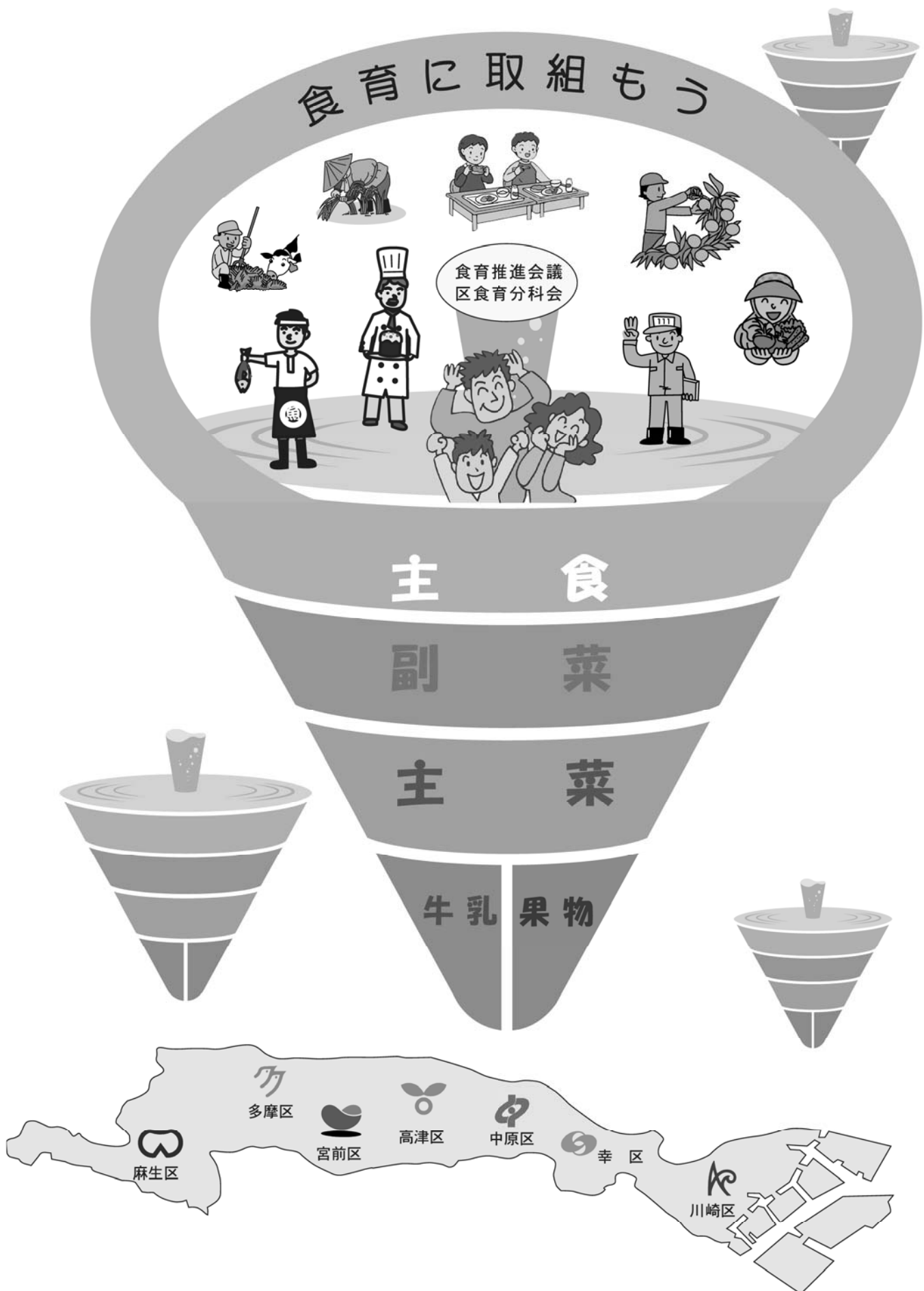
(7) 食品の安全性、食糧事情、食に関する調査、研究等の情報提供

- 食や栄養に関する情報は科学の進歩により日々変化し、新たな情報が生まれてきています。ホームページや広報誌、情報誌を通じて、食の安全性や食生活の改善、非常時の備蓄食糧等に関する情報を積極的に提供していきます。また、氾濫する情報を整理するため、消費者、食品関連事業者、学識経験者等により意見交換を行っていきます。
- 市民が正しい情報を適切に選別し活用する力を養えるような取組を進めていきます。

【推進するための主な取組】

事業名称等	内 容	担当局
食品安全啓発事業	食の安全に関する知識の普及及び情報提供等の施策の推進を目的とするもの。「川崎市食の安全確保対策協議会」の開催や情報誌「食生活と安全」の発行に取組む。「食生活と安全」には、食育について掲載し、情報提供をしている他、「川崎市食の安全確保の体系」を策定し、毎年見直し、拡充を図る。	経済労働局
自主管理体制の確立支援事業	食品の取扱い不備による食中毒や異物混入を未然に防止するため、自主管理体制の確立に向け、助言・指導を行う。	健康福祉局
給食施設指導事業	給食を通じて利用者の健康増進を目的とするもの。給食施設への巡回や栄養管理報告書の提出による指導を行う。 施設設置者及び栄養士への給食管理や健康管理のための講習会を実施する。 健康づくり施策等の情報提供を行う。	健康福祉局 区役所
川崎市労働情報の発行事業	勤労者に係る様々な情報提供、健全な労働環境のための月刊誌に、食育関連記事を掲載する。	経済労働局
インターナショナル・フェスティバル in カワサキ	民間交流団体、学校、商店街、町内会等が各種イベント等を通して交流を図る。	総務局
世界の料理を作って話そう ～○○○料理編	テーマの国の外国人を講師に、伝統料理や家庭料理を学び、併せて文化等についても講演等を通じて理解する。	総務局
食育推進地域活動事業	食育イベント、キャンペーン、栄養講習会等を実施し、健全な食生活の普及啓発を図る。 ホームページにより食に関する情報を提供する。	健康福祉局 区役所

川崎市における食育の推進



〈資料編〉

平成 2 1 年度

区食育推進分科会

事業実施担当課	川崎区役所 地域保健福祉課
分 科 会 名	川崎区食育推進分科会
主たるテーマ	幼稚園への食育出前講座
テ ー マ を 取 上 げ た 理 由 及 び 背 景	食育分科会において川崎区の食の現状について意見交換した結果、中・高校生の朝食欠食、お箸のマナー不足、家族が食卓を囲めない、食は命の源であることが忘れられているなど課題がありました。よって平成21年度は「①食べ物が命を作っていることを広くアピールしていく」、「②お箸で健康を。箸が使えることが食育につながる」ことを基盤にしていくことになりました。また、食育は乳幼児期から始めることが大切であり、この時期に「食」の大切さや感謝の心、マナーを習得させていくにはどんな取り組みがよいか話し合いました。対象を「乳幼児期とその保護者」とし、栄養士と触れ合う機会が少ないと思われる幼稚園へ出向くことによって、園児のみでなく、その若い保護者への食育教育も期待できると考えました。
取 組 の 目 標	・幼稚園への食育出前講座を通して、食に関心を持ち、朝食や野菜のとり方など、日常の食事を見直す機会となるようにします。 ・小学校栄養士による学校給食のお話を通して、食の楽しみや大切にしてほしいことを伝えます。
食 育 の 推 進 目 標 と の 関 連	■ 1 朝食で元気な1日のスタート (朝食を毎日食べる人を増やす) ■ 2 バランスよく楽しく食べよう (広めよう食事バランスガイド) □ 3 食に関する情報発信 (食育リーダーの養成) □ 4 その他
取 組 内 容	【平成20年度 会議年1回】 ・市食育推進計画及び区の食育推進の進め方を説明し周知しました。 【平成21年度 会議年2回、作業部会年2回、食育出前講座年2回】 ・2箇所の幼稚園で食育出前講座を実施。 <1回目> ・紙芝居「からだがすきなたべもの」演者：小学校・行政栄養士。 ・お話「学校の給食について」と食材をエプロンシアターで説明。演者：小学校栄養士。 ・分科会発行の保護者へのお便りを当日に配布。対象：年長園児80人。 <2回目> ・講話「小学校の給食は楽しい！おいしい！」講師：小学校栄養士。 ・ゲーム「あなたの食べている野菜は足りてる？（野菜計量ゲーム）」と食事バランスガイド（大型タペストリーを使用して）の説明。演者：食生活改善推進員、野菜提供：食品衛生協会 ・お話「食への感謝の心ーお箸の文化」演者：食品衛生協会会長。対象：保護者35人。分科会発行便りとその他朝食レシピ冊子等の配布。
評 価	保護者のアンケートからは、「楽しかった」「とてもわかりやすく参考になった」「子どもにもしてほしい」など好評をいただき、食事を見直したいという感想もありました。委員同士の活発な意見交換は1回の会議ではまともならず、会議を増やして作業部会を2回設け、対象の違う2通りの食育出前講座の内容を検討し具体的な計画を立てました。当日を含め、多数の委員で役割分担し、皆で食育出前講座を作り上げたという達成感があつたように思います。2回の講座に、園児が主に入学する近隣の小学校栄養士も当日参加・ご挨拶し、4月から始まる学校給食により一層関心が高まったのではないかと考えられます。
今 後 の 課 題	・今後も未実施の幼稚園での食育出前講座を継続して開催し、食育にあまり関心のない保護者にも参加してもらえよう講座内容を検討していきます。 ・委員全員で事業の手応えを感じられるよう、今後もさらに委員と目的を共有し、行政と協働で実施できるよう取り組みます。
食 育 の 推 進 項 目 と の 関 連	■ I 家庭における食育の推進 ■ II 学校・幼稚園・保育園等における食育の推進 ■ III 地域における食生活改善のための取組の推進 □ IV 食育推進運動の推進 □ V 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化等 □ VI 食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 □ VII 食品の安全性や栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供
委 員 構 成	委員所属 ■ 学 校 ■ 企 業 □ 保健医療専門家・関係団体 ■ 地域団体 ■ 福祉関連施設・団体 団体の分類 ■ 保育園 ■ 幼稚園 □ 農業関係者 □ その他 私立幼稚園協会、私立幼稚園協会、市立保育園、小学校長会、川崎市立川崎高等学校、子育てグループ、川崎区食生活改善推進員協議会、東京ガス（株）川崎支店、川崎区PTA連絡協議会、川崎区中央第一民生委員児童委員代表、川崎区連合町内会、川崎市介護支援専門員連絡会川崎区代表幹事、神奈川県栄養士会川崎支部

事業実施担当課	幸区役所 地域保健福祉課
分 科 会 名	幸区食育推進分科会
主たるテーマ	区内の食育の推進のための連携づくり
テ ー マ を 取 上 げ た 理 由 及 び 背 景	「川崎市食育推進計画」を周知し、食を取り巻く問題や地域で行われている食育活動の情報を共有しながら、家庭、地域、学校、企業等様々な分野との連携づくりを図ること、区内の食育運動を推進するため、取り組みました。
取 組 の 目 標	食育推進を区民に普及するため、関係機関をはじめ一般区民も参加でき、地域全体の食育を考える機会を持つことを目標にしました。
食 育 の 推 進 目 標 と の 関 連	☐ 1 朝食で元気な1日のスタート（朝食を毎日食べる人を増やす） ☐ 2 バランスよく楽しく食べよう（広めよう食事バランスガイド） ☒ 3 食に関する情報発信（食育リーダーの養成） ☒ 4 その他
取 組 内 容	・小学校や事業所給食での地産地消の推進の取り組みの紹介や幼稚園、保育園での米作りや野菜の栽培などの取組によって好き嫌いを少なくすることができていることなどの食育の取組が紹介されました。また、地域で見かけた紙パックをストローで飲んでいた小学生の話やメタボになっている人は栄養指導を聞いてくれるが、20、30歳代の方は元気なのでいろいろ言っても聞いてくれる人は少ない等の課題が出されました。さらに、中国産の食品の安全の問題や幸区で作られている野菜の販売所の事が取り上げられました。 ・食育推進分科会として、地域に向けた具体的な食育の取組をどのように進めていくかを話し合いました。
評 価	様々な食育活動が実際に行われていることが分かり、情報を共有することができました。その一方で、子どもの食の乱れや子育て世代の健康問題、生活習慣の乱れなどの解決はとても難しい課題であることが分かりました。家庭、地域、学校、企業等様々な分野の人の食への知識や経験が集まって、幅広い意見交換ができました。
今 後 の 課 題	各委員が所属する団体等で課題の解決に取り組むとともに、食育推進分科会を通して、それぞれの委員が連携していきながら、地域における食育の取組のひとつとして食育交流会の企画、実施することでさらに食育活動の幅が広がり、区民の健康づくりに繋がっていくことを考えていく必要があります。
食 育 の 推 進 項 目 と の 関 連	☒ I 家庭における食育の推進 ☒ II 学校・幼稚園・保育園等における食育の推進 ☒ III 地域における食生活改善のための取組の推進 ☒ IV 食育推進運動の推進 ☒ V 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化等 ☐ VI 食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 ☐ VII 食品の安全性や栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供
委 員 構 成	委員所属 ■ 学 校 ■ 企 業 ■ 保健医療専門家・関係団体 ■ 地域団体 ■ 福祉関連施設・団体 団体の分類 ■ 保育園 ■ 幼稚園 ■ 農業関係者 ■ その他 ・幼稚園教諭 ・保育園栄養士 ・小学校栄養士 ・栄養士会 ・中学校養護教諭 ・食生活改善推進員協議会（ヘルスメイト） ・事業所栄養士 ・東京ガス ・PTA連絡協議会 ・子ども会役員 ・生産農家 ・食品衛生協会

事業実施担当課	中原区役所 地域保健福祉課
分 科 会 名	中原区食育推進分科会
主たるテーマ	中高生とそれを取り巻く環境への食育推進媒体作成
テ ー マ を 取 上 げ た 理 由 及 び 背 景	中高生は、小学生に比べ、行動範囲が広がり、より主体的に食事をとることが増えてきます。また、塾やクラブ活動など生活リズムが乱れたり、肥満ややせ願望によるダイエットなど体型への関心が高まる時期でもあります。生きるうえでの基本となる「食」を学び習得するために、生活リズムの乱れ、食生活の乱れが習慣化・定着化してしまう前のこの世代へ向けて適切な生活・食習慣を伝えることが必要だと考えられます。
取 組 の 目 標	中高生が適切な生活・食習慣がもてるように、食育のリーフレットを作成し、年度内に区内公立中学生高校生全員に配布します。
食 育 の 推 進 目 標 と の 関 連	■ 1 朝食で元気な1日のスタート (朝食を毎日食べる人を増やす) ■ 2 バランスよく楽しく食べよう (広めよう食事バランスガイド) ■ 3 食に関する情報発信 (食育リーダーの養成) □ 4 その他
取 組 内 容	平成20年度は取組について企画し、平成21年度は企画に基づき、中学生の食育推進の糸口となるようなリーフレットを検討・作成を行いました。作成に当たって、中学養護教諭による中学生の生活リズムと食生活の現状報告を受け、中高生が楽しく食事バランスガイドを学習できるように ①視覚に訴える紙面 ②クイズ形式を入れる ③学生作成による表紙 ④川崎市食育推進方針を明記するを考慮し、検討・作成しました。
評 価	平成21年度にはリーフレットを1万部印刷し、区内の市立中学生全員および県立・私立の高校生にも配布しました。健康づくり推進会議の広報掲載により、歯科医院から配布依頼がありました。
今 後 の 題	中原区では平成20年度から、健康づくり推進会議のテーマを「食育」とし、特に中学生に重点を置いて取り組んできました。平成22年度以降も中高生への食育普及が必要であり、そのためにも中高生を取り巻く地域や各関係機関の方々と連携して継続的に取り組んでいく必要があると思います。
食 育 の 推 進 項 目 と の 関 連	■ I 家庭における食育の推進 ■ II 学校・幼稚園・保育園等における食育の推進 ■ III 地域における食生活改善のための取組の推進 ■ IV 食育推進運動の推進 □ V 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化等 □ VI 食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 □ VII 食品の安全性や栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供
委 員 構 成	委員所属 ■ 学 校 ■ 企業 □ 保健医療専門家・関係団体 ■ 地域団体 ■ 福祉関連施設・団体 団体の分類 ■ 保育園 ■ 幼稚園 □ 農業関係者 □ その他 ・上小田中保育園栄養士 ・サクラノ幼稚園園長 ・住吉小学校栄養士 ・井田中学校養護教諭 ・日本医科大学武蔵小杉病院栄養士・株式会社NECライベックス栄養士 ・特別養護老人ホーム等々力栄養士・中原区食生活改善推進員協議会会長 ・神奈川県栄養会川崎支部地域活動栄養士協議会栄養士



事業実施担当課	高津区役所 地域保健福祉課
分 科 会 名	高津区食育推進分科会
主たるテーマ	高津区の食育のあり方を探る
テ ー マ を 取 上 げ た 理 由 及 び 背 景	平成20年度「食育推進分科会」を設置し、地域の食育の課題を確認しようとしたところ、委員により食育の認識が異なり、課題を共有する以前のところで立ち止まる状態であった。食育の認識と課題を共有し、高津区でなければ出来ない食育推進の方向性を決めることが必要でした。
取 組 の 目 標	委員が食育の認識と課題を共有し、高津区でなければ出来ない食育の方向性を決める。
食 育 の 推 進 目 標 と の 関 連	☐ 1 朝食で元気な1日のスタート（朝食を毎日食べる人を増やす） ☐ 2 バランスよく楽しく食べよう（広めよう食事バランスガイド） ☐ 3 食に関する情報発信（食育リーダーの養成） ☒ 4 その他
取 組 内 容	平成20年度は、「食育推進分科会」を設置し、「食育」の基本について共通認識を持つため、講演「地域ですすめる食育」（饗場直美氏）を実施した。その後、委員の自己紹介と所属団体の推進状況を出し合った。・平成21年度では、各団体で「食育分科会」の報告結果を確認した。分科会開催前に各所属団体の食育推進状況、食行動や食習慣についての課題を提出してもらい、分科会において饗場直美氏に「地域へ広める・つながる食育」の実施事例を交えて、食育推進について助言してもらい検討した。
評 価	平成20年度は、各委員の「食育」への認識は共有することができたが、地域の課題、推進の方向性決定まで至らなかった。・平成21年度はアンケートの実施、講演により、現状と課題が明らかになり、今後は「家庭」から「地域」で取組む方向性に共通認識が持てた。
今 後 の 課 題	各委員所属の団体もそれぞれ、食育推進に取組む計画はあるが、対象者や時間の制約があった。保育園、学校等では、よく食育推進に取り組んでいる。子どもだけでなく親への働きかけが必要である。小学校の取組に合わせて、各所属団体も一緒に、親へも働きかける地域での取り組みを検討し、実施してゆく。
食 育 の 推 進 項 目 と の 関 連	☒ I 家庭における食育の推進 ☒ II 学校・幼稚園・保育園等における食育の推進 ☒ III 地域における食生活改善のための取組の推進 ☒ IV 食育推進運動の推進 ☒ V 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化等 ☐ VI 食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 ☒ VII 食品の安全性や栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供
委 員 構 成	委員所属 ☒ 学 校 ☒ 企 業 ☐ 保健医療専門家・関係団体 ☒ 地域団体 ☒ 福祉関連施設・団体 団体の分類 ☒ 保育園 ☒ 幼稚園 ☒ 農業関係者 ☐ その他 ・川崎市立子母口保育園 ・川崎めぐみ幼稚園 ・川崎市立久地小学校・川崎市立東橋中学校 ・子育て支えあいネットワーク満・高津区民生委員児童協議会 ・高津区PTA協議会 ・元気な高津をつくる会・高津区食品衛生協会 ・川崎市女性農業担い手の会（茜会） ・高津区栄養士研修会代表（エプロンうさぎ）・高津区食生活改善推進協議会 ・株式会社ライフコーポレーション

事業実施担当課	宮前区役所 地域保健福祉課
分 科 会 名	宮前区食育推進分科会
主たるテーマ	川崎市食育推進計画の普及および食育活動の推進
テ ー マ を 取 上 げ た 理 由 及 び 背 景	食育推進分科会は平成20年度に発足したため、平成20年3月に策定された「川崎市食育推進計画」を周知し、地域において行われている食育活動の情報を共有することで食育の取組が進むことをめざしました。
取 組 の 目 標	1 川崎市食育推進計画を周知し、食育に関心を持っている人を増やします。 2 地域で行われている食育活動の情報を集約します。 3 宮前区食育交流会等を開催し、食育に関する情報を提供します。
食 育 の 推 進 目 標 と の 関 連	■ 1 朝食で元気な1日のスタート（朝食を毎日食べる人を増やす） ■ 2 バランスよく楽しく食べよう（広めよう食事バランスガイド） ■ 3 食に関する情報発信（食育リーダーの養成） □ 4 その他
取 組 内 容	1 平成20年度は「食育フォーラム」を開催し、川崎市食育推進計画を周知しました。 2 平成21年度は地域で行われている食育活動の情報を集約し、「宮前区食育事例集」を作成しました。 3 宮前区食育交流会を開催し、区内で行われている食育活動の発表、農耕の歴史を踏まえた食物生産の変遷についての講演、江戸時代の川崎宿で提供された料理「奈良茶飯」の試食、グループディスカッション等を通して食育に関する情報交換を行いました。
評 価	・地域で行われている食育活動の事例については、「宮前区食育事例集」として川崎市食育推進計画の7つの具体的な施策について、それぞれの事例をまとめることができました。 ・宮前区食育交流会は、食育推進分科会が企画運営し、当日も各委員が役割を分担して運営にあたりました。また、宮前区健康づくり推進会議の協力を得て、広く区民に広報を行いました。さらに、食育活動の発表・講演・試食により川崎市食育推進計画の7つの具体的な施策について情報を提供することができました。 ・80人の参加者が11グループに別れ、食育に関して活発な情報交換が行われました。
今 後 の 課 題	平成21年度は「宮前区食育事例集」を作成しましたが、今後はさらに地域で行われている食育活動の情報を収集し、冊子を充実させて食育活動の情報を広く提供していきたいと思います。冊子作成のための情報収集や宮前区食育交流会の企画を行う中で、宮前区食育推進分科会が中心となって地域の食育に取り組んでいる団体・機関が連携しあえる環境づくりを推進していく必要があります。
食 育 の 推 進 項 目 と の 関 連	■ I 家庭における食育の推進 ■ II 学校・幼稚園・保育園等における食育の推進 ■ III 地域における食生活改善のための取組の推進 ■ IV 食育推進運動の推進 ■ V 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化等 ■ VI 食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 ■ VII 食品の安全性や栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供
委 員 構 成	委員所属 ■ 学 校 □ 企業 ■ 保健医療専門家・関係団体 ■ 地域団体 ■ 福祉関連施設・団体 団体の分類 ■ 保育園 ■ 幼稚園 ■ 農業関係者 □ その他 川崎市立小学校学校栄養職員、川崎市立中学校養護教諭、宮前区栄養士研修会、宮前区食品衛生協会、宮前区地区食生活改善推進員協議会、宮前区地域教育会議、子育てグループ「親子で一緒に外遊びの会」、宮前区社会福祉協議会、宮前区民生、児童委員協議会、宮前区健康づくり推進会議、川崎市立保育園栄養士、川崎市幼稚園協会、セレサ川崎農業協働組合

事業実施担当課	多摩区役所 地域保健福祉課
分 科 会 名	多摩区食育推進分科会
主たるテーマ	食を通した健康づくり
テ ー マ を 取 上 げ た 理 由 及 び 背 景	食を通して様々な年代、対象へ関わることにより、具体的な目標に向かって市民が主体的に取り組む健康づくりを推進しています。委員との連携としては、地域に根付いた活動を集約することも視野に入れ、明治大学農学部、セレサ川崎農業協同組合、川崎河川漁業協同組合、川崎商工会議所からも委員を選任していただきました。
取 組 の 目 標	1 食に興味を持つことによって、健全な食生活の実践・健康づくりを、区民が主体的に推進していきます 2 食育を推進する団体・個人が連携して取組を行っていきます
食 育 の 推 進 目 標 と の 関 連	■ 1 朝食で元気な1日のスタート（朝食を毎日食べる人を増やす） ■ 2 バランスよく楽しく食べよう（広めよう食事バランスガイド） ■ 3 食に関する情報発信（食育リーダーの養成） □ 4 その他
取 組 内 容	〔平成20年度 会議年4回〕 1 講演会3回及び研修会の開催。2 アンケート実施及び交流会〔委員・栄養士等〕（食に関して感じている問題や抱えている課題・食に関する活動として独自に実施または計画しているもの・他の団体と一緒に取り組んでみたいこと）アンケート結果に基づき検討 〔平成21年度 会議年4回〕 1 講演会及び食育交流会（生産者、明大等10団体による活動発表と交流）・講演会及び食育研修会（食育グループ討議） 2 地産地消のイベント（よみうりランド、JAセレサ川崎、生産者との協働による大豆の育成と豆腐づくり、小学生対象）・ウォーキング推進委員会との協働による芋掘りと食育ウォーキングイベント・多摩区内の「かわさきそだち」であるのらぼう菜普及啓発 3 中学校での講演会 4 多摩区食生活改善推進員協議会との共催による健康を考える食事の展示と試食1800食、食育の日の普及啓発。
評 価	1「食に興味を持つことによって、健全な食生活の実践・健康づくりを、区民が主体的に推進していく」・講演会・食育イベント・中学校での講演会等により、食に興味を持ち、健康づくりを主体的に考え推進していく方を増加することができました。（アンケート調査結果等により） 2「食育を推進する団体・個人が連携して取組を行っていく」豆腐づくりイベント・芋掘り＆食育ウォーキングイベント・食生活改善推進員協議会との共催活動・食育交流会等多くの連携事業を実践できました。
今 後 の 課 題	・今年度、より多くの年代に食育を働きかけることも視野に活動を広げてきましたが、高校生・大学生の年齢層を組み込むことができなかったため、今後は高校生・大学生にも食育対象を広げていきたいと思ひます。そのためには、どんな取組を行えばこの年齢層に食育を行うことができ、健全な食生活・健康づくりに繋げていくことができるかを考えていきたいと思ひます。 ・個人・団体それぞれの食育活動の発展 ・2年間の活動により、連携の輪が広がってきましたが、さらなる発展が必要だと感じています。
食 育 の 推 進 項 目 と の 関 連	■ I 家庭における食育の推進 ■ II 学校・幼稚園・保育園等における食育の推進 ■ III 地域における食生活改善のための取組の推進 ■ IV 食育推進運動の推進 ■ V 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化等 ■ VI 食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 ■ VII 食品の安全性や栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供
委 員 構 成	委員所属 ■ 学 校 ■ 企 業 ■ 保健医療専門家・関係団体 ■ 地域団体 ■ 福祉関連施設・団体 団体の分類 □ 保育園 □ 幼稚園 ■ 農業関係者 ■ その他 川崎河川漁業協同組合、小学校校長会、神奈川県栄養士会川崎支部、多摩区医師会、多摩区食生活改善推進員協議会、川崎商工会議所、中学校校長会、多摩区民生委員児童委員協議会、明治大学農学部、セレサ川崎農業協同組合、川崎市歯科医師会、川崎市多摩区食品衛生協会、公募区民

事業実施担当課	麻生区役所保健福祉センター地域保健福祉課
分 科 会 名	麻生区食育推進分科会
主たるテーマ	食育推進の具体的な取組
テ ー マ を 取 上 げ た 理 由 及 び 背 景	職域が異なるため、委員が所属している団体同士でも、他の団体がどのような活動をしているかの情報交換がされていない。区内のどこで、どのような取組がされているかを知る。
取 組 の 目 標	川崎市食育推進計画の7つの具体的な施策（①家庭における食育の推進 ②学校・幼稚園・保育園における食育の推進 ③地域における食生活改善のための取組の推進 ④食育推進運動の推進 ⑤生産者と消費者との交流の促進・環境と調和のとれた農業の活性化 ⑥食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 ⑦食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供）が、区内ではどのように推進され取組まれているかを調べ、関係団体とのつながりや区民への普及啓発方法について考える。
食 育 の 推 進 目 標 と の 関 連	☐ 1 朝食で元気な1日のスタート （朝食を毎日食べる人を増やす） ☐ 2 バランスよく楽しく食べよう （広めよう食事バランスガイド） ☒ 3 食に関する情報発信 （食育リーダーの養成） ☒ 4 その他
取 組 内 容	平成20年度 健康づくり推進会議と食育推進分科会を合同で開催し、食育推進分科会の今後のあり方について意見交換を行なう。各職域における「食」に関する課題を出してもらい意見交換を行なう。 平成21年度 健康づくり推進会議及び食育推進分科会委員に「食育推進アンケート」を実施。所属している団体が、7つの具体的な取組み毎に現在実施している活動内容・将来実施計画を考えている活動内容・その他についてまとめ、お互いの活動内容を把握した上での意見交換を行った。
評 価	7つの具体的な取組ごとに区内の活動内容を整理した事によって、お互いに他団体の活動内容が情報として入ってこなかった事が判り、判っていれば協力できる体制ができた事を委員同士で話合うことができた。
今 後 の 題	関係団体同士の情報交換をどのように行なえばより密にできるか。区民に対する普及啓発をどのように行なうのか。単発で行なう講演会等では、その時だけは人を集めることはできるが、定着はしない。長期計画を立てた上での実施を考えて行く。
食 育 の 推 進 項 目 と の 関 連	☒ I 家庭における食育の推進 ☒ II 学校・幼稚園・保育園等における食育の推進 ☒ III 地域における食生活改善のための取組の推進 ☒ IV 食育推進運動の推進 ☐ V 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農業の活性化等 ☒ VI 食文化の伝承のための活動への支援と国際交流の推進 ☒ VII 食品の安全性や栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供
委 員 構 成	委員所属 ☒ 学 校 ☐ 企 業 ☐ 保健医療専門家・関係団体 ☒ 地域団体 ☒ 福祉関連施設・団体 団体の分類 ☒ 保育園 ☒ 幼稚園 ☒ 農業関係者 ☒ その他 区内保育園代表、区内市立小学校代表、区内栄養士研修会代表、子ども関連ネットワーク会議代表、J A セレサ川崎麻生地区代表、食品衛生協会代表、区内中学校養護教諭代表、麻生区商店街連合会代表、神奈川県栄養士会川崎支部代表、川崎市幼稚園協会区内代表、区内食生活改善推進員連絡協議会代表